

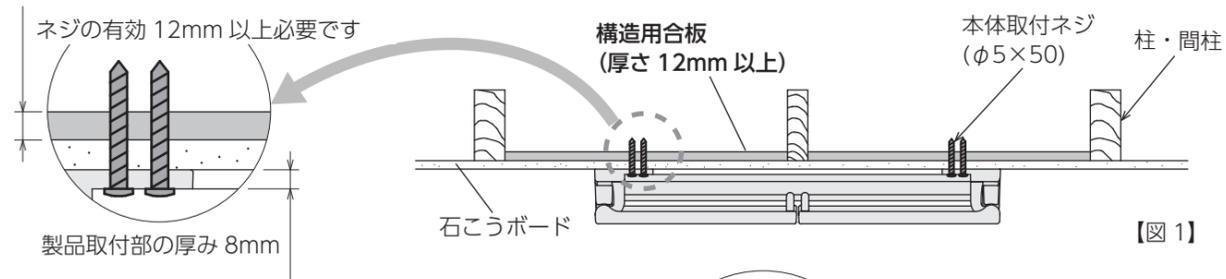
取付場所の確認 (単位: mm)

●取付前に、お施様のご希望または工事の設計仕様をご確認のうえ、取付位置を決定してください。

(1) 構造用合板などによる壁下地材の補強

建築前に、あらかじめ住宅設計に組み込む場合は、事前に本製品を取付ける箇所を**構造用合板(厚さ12mm以上)**などで補強すると、次のようなメリットにより安心してご使用いただけます。【図1】

- ・柱の位置に左右されず、自由な位置に取付けられます。
- ・本体取付ネジが柱から外れたり、柱を割ったりするトラブルが避けられます。

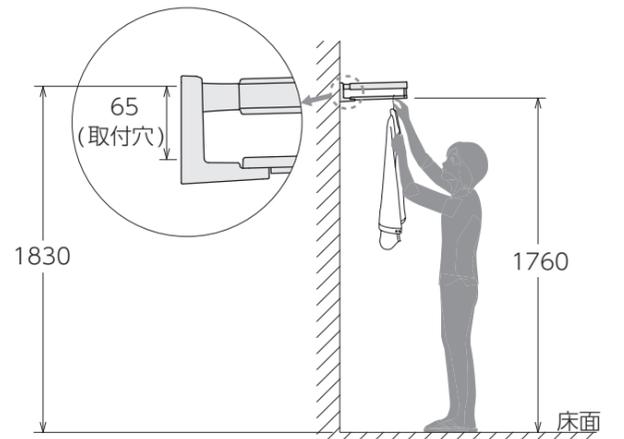


【図1】

(2) 取付高さの参考例

【図2】の取付高さは、身長155cmの方の手が届く目安です。

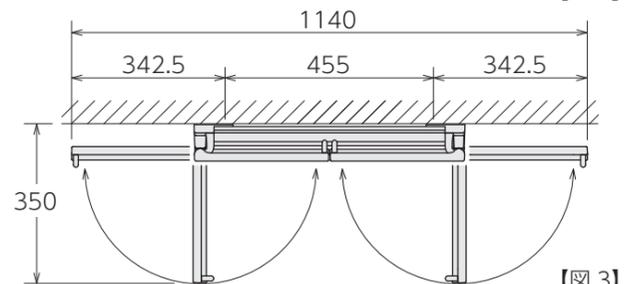
※あくまで参考例であり、この限りではありません。



【図2】

(3) アーム開閉の範囲

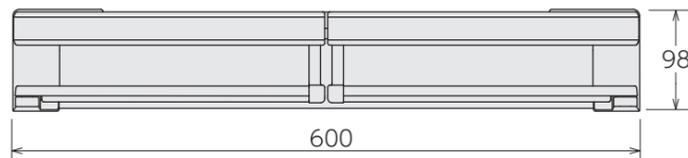
アームが約180°まで障害なく動かすことができる広さがある事を確認してください。【図3】



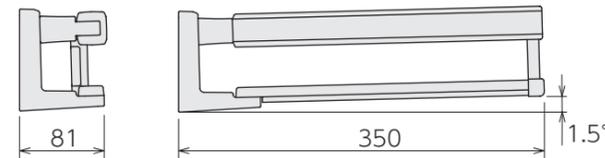
【図3】

寸法図 (単位: mm)

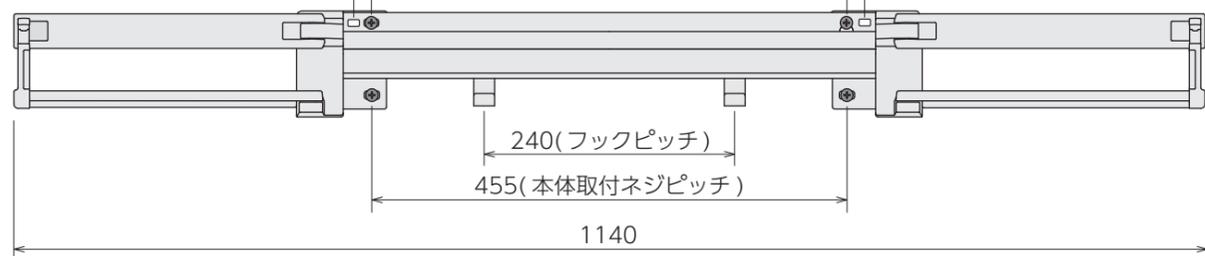
【アーム収納時】



【アーム90°】



【アーム全開時】



取付けのしかた (単位: mm)

1 下穴をあける

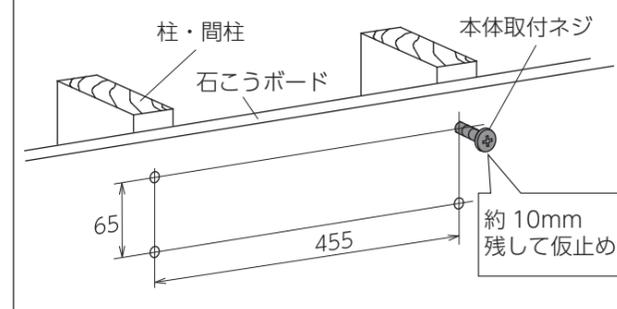
市販の下地探し用針やセンサーなどを使用して、下地に柱・間柱・構造用合板(厚さ12mm以上)のある箇所に下穴(φ3.5~3.8)を正確に4箇所あけてください。(構造用合板12mmに取り付ける場合は、6箇所あけてください。)

※下穴は、必ず木下地のある場所に水平にあけてください。

正面から見て右上の下穴に本体取付ネジを壁面から約10mm隙間が残るように仮止めしてください。

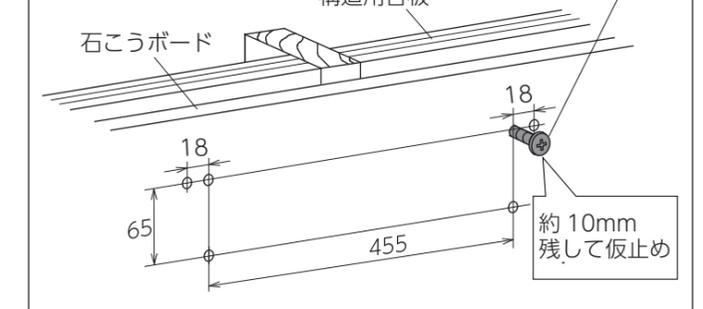
【柱・間柱に取付ける場合】

※取付ネジ4本使用



【構造用合板(厚さ12mm以上)に取付ける場合】

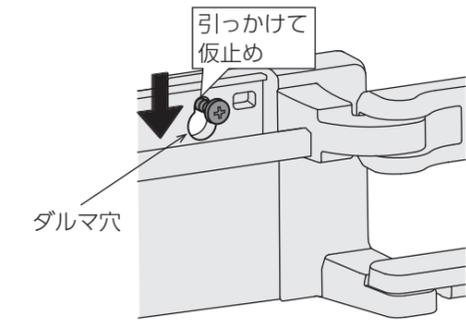
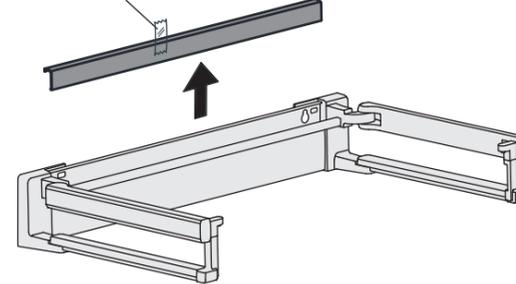
※取付ネジ6本使用



2 本体の仮止め

上部カバーを外し、1で仮止めした本体取付ネジに、本体のダルマ穴を引っかけて仮止めしてください。

※テープを貼って引っ張ると簡単に外れます。



3 本体の取付け

アームを開けた状態で、本体取付ネジを4本締め付けてください。

(構造用合板12mmに取付ける場合は、必ずネジを6本締め付けてください。)

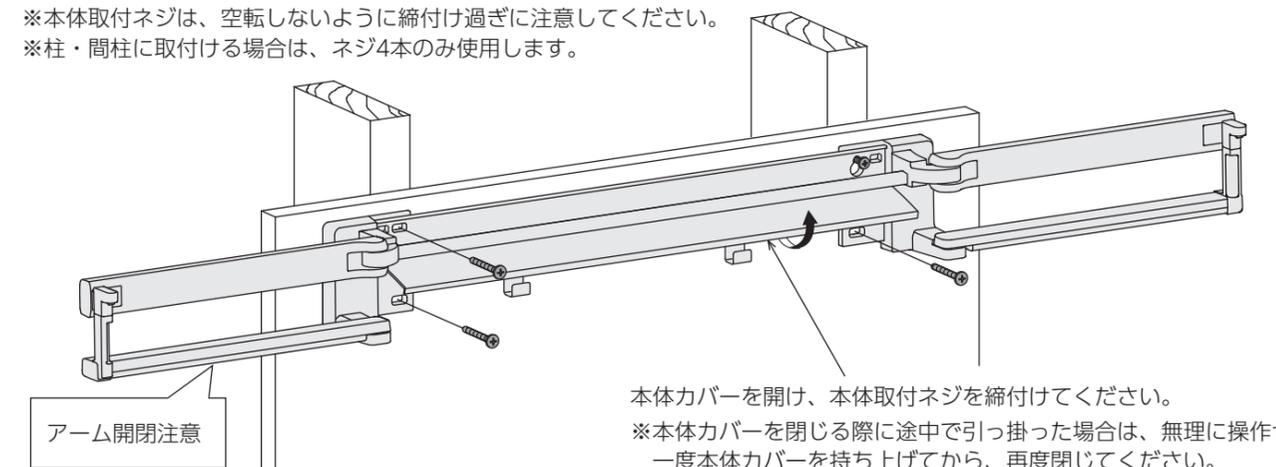
電動ドライバーは本体取付ネジ締め終わりの手前4~5mmでとめ、その後は手回しで感触を確かめながらネジ締めをしてください。

※電動ドライバーなどで取付ける際に、製品に傷が付かないように注意してください。

※製品本体を取付ける際には、アームの開閉に注意してください。

※本体取付ネジは、空転しないように締め付け過ぎに注意してください。

※柱・間柱に取付ける場合は、ネジ4本のみ使用します。



※水準器などで、水平に取付していることを確認してください。